

平成29年3月15日

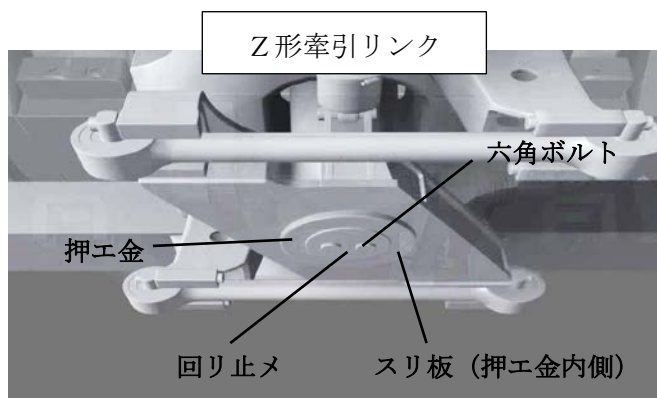
室蘭線 北入江信号場における列車脱線事故について

平成29年2月23日に室蘭線 北入江信号場構内で発生しました貨物列車脱線事故につきまして、JR北海道ならびに当社をご利用頂いているお客様、及び関係の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。なお現在、原因は調査中ですが、脱線事故の概況は以下のとおりです。

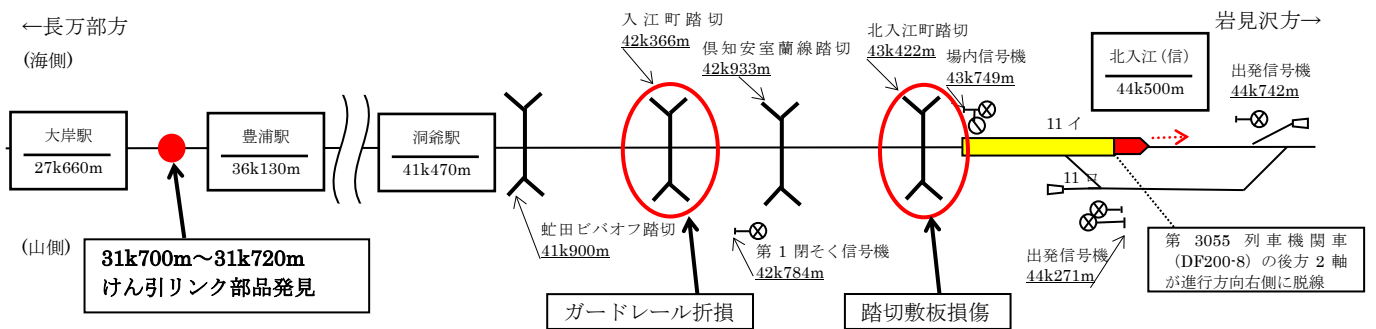
1. 発生日時・場所 平成29年2月23日(木) 3時59分頃
室蘭線 北入江信号場構内(長万部起点 44k322m)
2. 列車 高速貨第3055列車(隅田川駅発 札幌貨物ターミナル駅行)
19両編成(機関車1両、無動力回送機関車1両、コンテナ貨車17両)
3. 脱線車両 DF200-8号機(先頭機関車)
4. 概況
第3055列車運転士は、23日3時59分頃北入江信号場構内を走行中、異音を感知したため、列車を停車させて確認したところ、けん引機関車の後部2軸(5・6軸)が進行方向右側に脱線しているのを発見しました。
5. 運転再開 翌24日17時01分
6. 運休本数 旅客列車: 84本 貨物列車: 56本

7. 車両の状況について

- (1) 当該機関車の後部台車2軸が進行方向右側に約93~458mm脱線していました。なお後部の無動力機関車及びコンテナ貨車は脱線していません。
- (2) 台車から車体に牽引力を伝達するZ形牽引リンク装置が破損していることが判明しました。
- (3) 車体中心ピンとZ形牽引リンクを締結している六角ボルト(M22×60)2個、押エ金、すり板及び回り止メが落失しておりましたが、礼文~豊浦駅間において六角ボルト1個を除き発見されました。なお現時点(15日12時現在)残りの六角ボルト1個は発見されていません。



8. 略図



9. 緊急対策

同形式機関車のZ型牽引リンク装置の緊急点検を実施した結果、2月23日中に全47両に異常がないことを確認しました。また、同種のリンク装置を使用している全国の機関車(全266両)についても点検を実施し、2月26日夕方までに全て異常が無いことを確認しました。

10. 今後の対応

JR北海道等と連携して、国土交通省運輸安全委員会の調査に引き続き全面的に協力し原因究明に努め、また当社として原因の特定を待たずとも、事故の要因となる可能性がある事柄に対して、出来る限りの対策を行ってまいります。